

ワクチン接種を受ける人へのガイド

2026年9月更新

2 1 価肺炎球菌結合型ワクチン (無毒性変異ジフテリア毒素結合体)

【このワクチンの名前は？】

販売名	キャップボックス筋注シリンジ CAPVAXIVE for Intramuscular Injection Syringes
一般名	2 1 価肺炎球菌結合型ワクチン (無毒性変異ジフテリア毒素結合体) Pneumococcal 21-valent Conjugate Vaccine (Conjugate with a Non Toxic Variant of Diphtheria Toxin)

ワクチン接種を受ける人へのガイドについて

ワクチンの正しい理解と、重大な副反応の早期発見などに役立てていただくために、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、特に知っていただきたいことをわかりやすく記載しています。添付文書情報は PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に掲載されています。
※副反応：ワクチンの副作用のこと

【このワクチンの効果は？】

- このワクチンは、次の目的で接種されます。
高齢者又は2歳以上の肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる人における肺炎球菌による感染症の予防
- このワクチンの接種により肺炎球菌血清型（3、6 A、7 F、8、9 N、10 A、11 A、12 F、15 A、15 B、15 C、16 F、17 F、19 A、20 A、22 F、23 A、23 B、24 F、31、33 Fおよび35 B）に対する抗体ができ、これらの血清型の肺炎球菌による感染症にかかりにくくなります。
- 上記で挙げた肺炎球菌血清型以外による感染症あるいは他の起炎菌による感染症を予防することはできません。
- ジフテリアを予防することはできません。
- 肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる人とは、以下の様な状態の人を指します。
 - 心臓、肺、肝臓または腎臓に慢性的な疾患がある人

- 糖尿病の人
- 基礎疾患もしくは治療により免疫不全状態であるまたはその状態が疑われる人
- 先天的または後天的無脾症（むひしょう）がある人（無脾症候群（むひしょうこうぐん）、脾臓摘出術（ひぞうてきしゅつじゅつ）を受けた人など）
- 鎌状赤血球症またはその他の異常ヘモグロビン症がある人
- 人工内耳の装用、慢性髄液漏等の解剖学的要因により生体防御機能が低下した人
- 上記以外で医師が本剤の接種を必要と認めた人

【このワクチンの接種前に、確認すべきことは？】

- ワクチン接種を受ける人または家族の方などは、このワクチンの効果や副反応などの注意すべき点について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意した上で接種を受けてください。
- 医師が問診、検温および診察の結果から、接種できるかどうか判断します。
- 次の人は、このワクチンの接種を受けることはできません。
 - 過去にこのワクチンに含まれている成分またはジフテリアトキソイドで重いアレルギー反応（アナフィラキシーなど）をおこしたことがある人
 - 明らかに発熱（通常37.5℃以上）している人
 - 重篤な急性疾患にかかっている人
 - 上記以外に医師が予防接種を行うことが不適当な状態にあると判断した人
- 次の人は、医師が健康状態や体質に基づいて、接種の適否を判断します。
 - 過去に免疫に異常があると診断されたことがある人や両親や兄弟に先天性免疫不全症の人がいる人
 - 心臓や血管、腎臓、肝臓、血液の障害や発育の障害などの基礎疾患がある人
 - 他のワクチンの接種を受けて、2日以内に発熱があった人や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある人
 - 過去にけいれんをおこしたことがある人
 - このワクチンの成分またはジフテリアトキソイドに対してアレルギーをおこすおそれがある人
 - 血小板減少症や凝固障害のある人、抗凝固療法を受けている人
 - 腎臓に障害がある人
 - 肝臓に障害がある人

- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・ 授乳中の人

【このワクチンの接種スケジュールは？】

〔このワクチンの接種を受ける全ての人に共通〕

● 接種量および回数

1回0.5mLを筋肉内に注射します。

- 医師が必要と認めた場合には、同時に他のワクチンの接種を受けることができます。

〔肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる2歳以上18歳未満の人〕

- 通常、このワクチンの接種は、小児における肺炎球菌による侵襲性感染症の予防を目的とした接種が完了した人に、最終接種から8週間以上の間隔をあけて行います。

【このワクチンの接種後に気をつけなければならないことは？】

- ・ 接種当日は激しい運動をさけ、接種部位を清潔に保ってください。
 - ・ 接種後は健康状態によく気をつけてください。接種部位の異常な反応や体調の変化、高熱やけいれんなどの異常な症状があらわれた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
 - ・ 接種後に、ショック（冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失）、アナフィラキシー（全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しいなど）を含む重いアレルギー反応がおこることがあります。ショック、アナフィラキシーは通常接種後30分以内におこることが多いので、この間接種施設で待機するか、ただちに医師と連絡をとれるようにしておいてください。
 - ・ 接種直後または接種後に、血管迷走神経反射*として失神があらわれることがあります。失神による転倒を避けるために、次のことを守ってください。
 - ・ 接種後に診察室から待合室などへ移動するときには、看護師やご家族の方に腕をもって付き添ってもらってください。
 - ・ 接種後一定時間は、背もたれや肘かけのある安全なイスに座って待っていてください。
 - ・ 待っている間は、急に立ち上がることを避け、座っていてください。
- * 血管迷走神経反射：注射を打ったときの痛み、恐怖、興奮などに

よる刺激が脳神経のひとつである迷走神経を介して中枢に伝わり、心拍数が減ったり、血圧が下がったりすることがあります。そのため、気分が悪くなったり、めまいやふらつき、失神などが起こったりします。

- ・ 他の医師を受診したり、他のワクチンを接種したりする場合は、必ずこのワクチンを接種したことを医師または薬剤師に伝えてください。

副反応は？

特にご注意いただきたい重大な副反応と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副反応であれば、それぞれの重大な副反応ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師に相談してください。

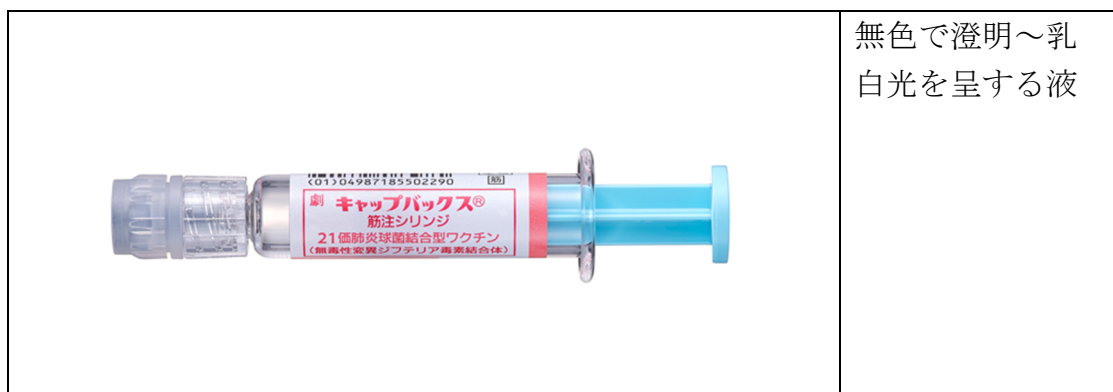
重大な副反応	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい

以上の自覚症状を、副反応のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副反応ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ
胸部	動悸、息苦しい
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

【このワクチンの形は？】

容器の形状	性状
-------	----



【このワクチンに含まれているのは？】

有効成分	肺炎球菌莢膜ポリサッカライド-CRM ₁₉₇ 結合体
添加剤	塩化ナトリウム、ポリソルベート20、L-ヒスチジン、L-ヒスチジン塩酸塩水和物、塩酸

【このワクチンについてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副反応などのより詳しい質問がある場合は、医師または薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：MSD株式会社 (<https://www.msd.co.jp>)

MSDカスタマーサポートセンター

フリーダイヤル：0120-024-964

受付時間：9：00～17：30

(土日祝日・製造販売会社休日を除く)